

地域住民が一丸となった追い払いによりサル被害を軽減

阿波地域住民自治協議会

（代表者：会長 藤森 莊剛）

三重県伊賀市

主な取組

被害が深刻化しているサルについては、学習能力が高く、人慣れするなどの理由から、被害軽減に成功する事例は非常に少ない。

当該協議会では、サルによる農作物被害や住居侵入に対応するため、地域住民の全員が自発的に被害防止活動の担い手となって、自らが定めた追い払い手順に基づき、山頂付近にまで徹底的に追い払うなどにより、餌場にされにくい集落づくりを実践し、被害を大幅に軽減させた。さらに、被害のために耕作を諦めざるを得なかった畑で営農を再開するなど、地域の活性化に大きく貢献。

地域住民が一丸となったこの取組は、サル被害に強い集落づくりのモデルとなり、周辺地域のみならず、サル被害に苦しむ県内外の地域にも普及。

集落ぐるみで行うことができる効果の高いサル対策として期待される。